

實相寺 花園會報

令和三年
一月一日発行
発行所
臨濟宗妙心寺派
陽明山 實相寺
實相寺花園會
〒761-0450
高松市三谷町
1811番地1
TEL.087-889-3838
編集発行人
山本文匡
<http://www.jissouji.net>

第141号

お寺の掲示板

これまで主に掛け軸をご紹介してきましたが、寺に在るものは殆ど紹介しましたので、今年から入口の掲示板に貼り出した言葉を掲載することにしました。住職の下手な字で恐縮ですが、ここは一つご容赦頂きお付き合い下さいませ。第1回目は一休禅師の道歌です。その意味は読んだ通り、光陰箭の如しです。今年も一年よろしくお願いいたします。

「除夜の鐘・修正会について」

毎年、大晦日の午後11時半より行っている除夜の鐘と修正会ですが、今年 は新型コロナ感染症予防対策として、住職一人で執り行うこととします。毎年参列下さっている皆様には、大変残念ですが、何卒ご理解の程、宜しくお願いします。

なお、除夜の鐘、及び修正会の様子はインターネットで中継します。ごなたでもご自宅から気軽に御参り頂ければ幸いです。専用ソフト等は不要です。ブラウザで次のアドレスを入力下さい。

<https://www.facebook.com/jissouji.net/live/>

アライグマ？再び！

先日、朝のお勤め前に本堂で坐禅していたところ、突然ドシン！という大きな音がしたかと思うと、カリカリカリカリ！と動物が走り回る音が！最初 はてっきりイノシシが縁側を走っているのかと思いましたが、どうやら天井裏に動物がいる模様。直ぐに業者に連絡しましたが、対応は正月休み明けになるようです。



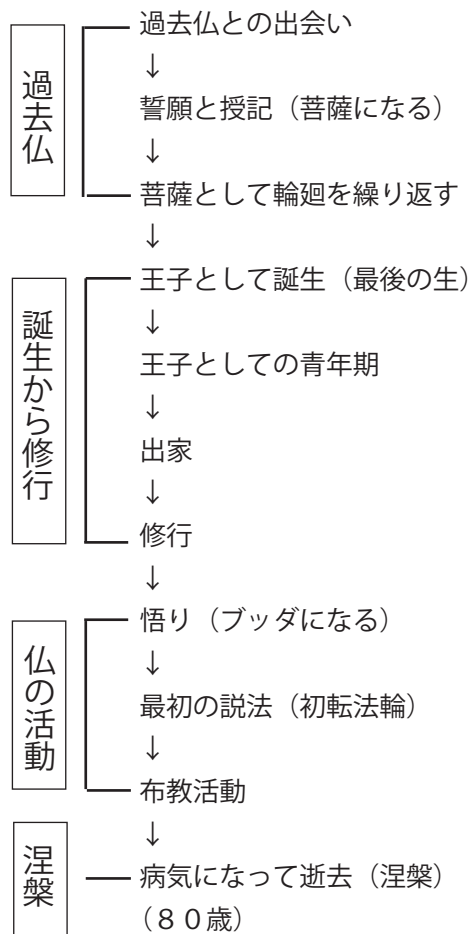
お釈迦さまの伝記・仏伝について①
 今回からお釈迦さまの伝記、仏伝について、花園大学の佐々木閑先生がYouTubeで講義されている「ブツダの生涯」を基に、私なりに要約してお伝えしようと思います。ですので興味を持たれた方は、是非、佐々木先生のYouTube動画を直接ご覧下さい。

さて仏伝にはまとまったものでも数十本、短いものは無数にあるそうですが、その原因はお釈迦さまの在世当時は文字で記録する文化が無かったため、正確な記録が残っていないからです。またお釈迦さまが生まれた時には、後にお釈迦さまが悟って仏教を開くとは誰も思っていないかもしれません。ですから仏伝というのは、お釈迦さまの死後、後世の人達が創作していったものです。

さらに多種多様な仏伝には全く同じものは無いそうです。それはその仏伝を作った時々の人びとの思いや社会状況が反映されているからです。ですから仏伝とは、単にお釈迦さまの一生を物語る歴史的資料ではありません。それが作られた時代の仏教の内容を知るための重要な鍵、手掛かりなのです。

仏伝は長い歴史の中で積み重なって成立して来ましたので、時代とともに変化しています。そこで仏伝の全体構成とその変化を理解するために、最も新しい仏伝、最終形態の仏伝の構成を示したのが左ページの図です。
 一般的な人の伝記は、誕生して成長し、やがて老いて亡くなる迄ですが、最終形態の仏伝はそこで終わりません。なぜなら当時のインドでは(今も)輪

最終的な仏伝の全体構成



※花園大学 佐々木閑先生 制作

廻転生が信じられていたからです。「お釈迦様のような偉大な方の過去世は普通人の間とは違うはずだ」と考えた人びとによって、お釈迦様の伝記は過去へ過去へと遡っていききました。ではその始まりはいつか?というところ、数十億年とも言われる遠い遠い昔に過去の仏と出会った時から始まります。

それまでのお釈迦様は普通の人間でしたが、仏と出会い、自分もあのような立派な人になりたいと志を立て、修行をした結果、何度も何度も輪廻を繰り返した末に、仏となって輪廻を脱し、涅槃に入る最後の人生として花咲くルンビニー園で誕生しました。これが最終的な仏伝の全体構成です。